

# 英語

1. 17行の英文を読み、和約をする問題でした。

英文は著作権者の許諾を得ていないため掲載いたしません。問題の概要は以下の通りです。

グローバリゼーションは、強力で現実的な新世界システムの現れであり、この地球の将来を経路づけていくのに、影響力を持つ幾つかの駆動力の一つを象徴している。グローバリゼーションは、経済、政治、安全、環境、健康、社会、文化、その他、多様な側面がある。この論文で注目するのは、世界経済に適応する「グローバリゼーション」の概念についてである。グローバリゼーションという用語は、1980年代につくられたが、この概念は、様々な人々がそれぞれ多様に解釈してきた伝統的なもの一つである。様々な解釈がもたらした結果として、「グローバリゼーション」には、きわめて異なるリアクションがある。世界経済をより発展させる駆動力として捉える、政治家、学者、活動家、がいる一方で、これらの3者に対して、世界経済システムの深刻な危険として捉える者たちもいるのである。

本論文の目的は次の三つである。第一に、世界経済に適応する「グローバリゼーション」の概念について明らかにする。第二に、グローバリゼーションに起因する潜在的な利益と潜在的なコストの両方を算出する。第三に、グローバリゼーションに起因するコストや危険が、より広い国際協力と新たなグローバルな諸制度の発展をいかに、相殺するのかについて考察する。

(出典)

作品名： Globalization of the world economy: Potential benefits and costs and a net assessment  
著作者名： Michael D. Intriligator  
問題の関連箇所： Introduction and Purpose p.1  
出版社名： MILKEN INSTITUTE  
出版年： 2003

2. 13行の英文を読み、和約をする問題でした。

英文は著作権者の許諾を得ていないため掲載いたしません。問題の概要は以下の通りです。

人生においてきわめて重要なトランジションは、家族とキャリアに関することである。われわれは、いつ誰と結婚して、何人の子供を授かり、いかなる教育を受けるかどうか、どのような職業や仕事に就くかを、決める。

家族とキャリアのトランジションに関する根本的な見識は、一般的に、大卒者や、その中でも、とくに、女性において、1970年代初期頃に、変わり始めた。大卒女性の平均初婚年齢は、1950年代から1970年代前半(1930年代から1950年生まれの年齢層)までは、22.5歳を推移していた。1972年から1979年(1950年から1955年に生まれの年齢層)の間では、2.5歳年齢が高くなった。40歳までに出産していない女性の割合は、1960年代初期に徐々に上がり、20%になり、1970年代にはさらに上昇し、28%にまで増加した。専門職分野を専攻する大卒女性が増えた。一年生で、法学生と医学生を専攻する大学一年女子の割合は、1970年には、10%であったが、1990年には、40%まで増加した。

(出典)

作品名： Gender differences in careers, education, and games  
著作者名： Claudia Goldin and Lawrence F. Katz  
問題の関連箇所： Transitions: Career and Family Life Cycles of the Educational Elite p.363  
出版年： 2008

# 小論文 問題

次の文章（抜粋）を読んで、第一問、第二問、第三問に答えなさい。なお、「」は出題者の補記である。

R「地域」の諸工場であくせく働いておられる未知の親愛なる友人のみなさま、わたしはあなた方によびかけを致します。わたしはあなた方に《われらの間》への協力をお願いに参りました。

もうこれ以上の仕事はいらないとお考えになるでしょう。仕事はもう沢山です。

こもともです。しかし、それでもわたしはあなた方にペンと紙をおとりになるように、あなた方の仕事について話して頂くようお願い致します。驚かないで下さい。わたしは知っています。八時間働いたらもううんざりです。その言おうとするところをうまく言っている表現を使いますと、もうそれまでというところまで望んでいることはただひとつです。翌朝まで工場のことを考えずになりたいという事です。それは自然な精神状態で、そのままにして置くのがいいのです。このような精神状態にある時には休養するにこしたことはありません。仲間と語り、ちよっと一杯飲み、トランプをして遊び、子供と遊ぶというようなことで。

〔中略〕

工場であなた方はただ命令を実施し、受け取った命令に合致した品物を引渡し、俸給支払日に、出来高と賃率に基づいて決められた額の金を受け取るためにだけ存在しているのです。その点を別にすればあなたは人間です。苦勞し、苦惱し、そして多分楽しい時間、愉快な時間も持たれるでしょう。時としてあなたは氣晴らしをし、またある時には恐ろしい努力を自分自身に強いなければならないでしょう。ある事柄に関心をもち、他のある事に退屈されるでしょう。しかしそれらすべては、あなた方の周囲の誰も知ることができません。あなた方自身、それを知らないように強いられています。あなたは製品を要求され、金を与えられるだけです。

この境遇が時として心の重荷になるということは本当ではないでしょうか。この境遇のために、時として自分が単なる生産機械であるという感じが生まれます。

それが工業労働の条件なのです。それはだれの過失でもありません。

〔中略〕

お願いしたいのは次のことです。ある夜、ある日曜日、あなた方の心の中にある物を自分の心の中だけに閉じ込めて置くことが急に苦痛になるようなことがありましたら、紙とペンをおとり下さい。上手な文章を書くこととしないでください。心に浮かんだ最初の文句をお使ください。そしてあなたの仕事があなたにとってどんなものであるかを言ってください。

仕事があなたの方にとって苦痛であるならそれを言ってください。〔中略〕

時として労働の楽しみを感じられるならば、仕上げた努力を誇りに思われるならば、それもまた言ってください。

〔中略〕

『われらの間』とは、R地域のある工場長が創刊した雑誌。

一般的にいつて、あなたが工場で時間を長く感ぜられるかそれとも短く感ぜられるか言ってください。多分それは日によって違うでしょう。そこでその違いが正確には何に基づくかを考えてください。

仕事に出かける時元気に満ちているか、それとも毎朝《早くひければいいが》と考えるか言ってください。夕方愉快に退出されるか、それとも一日の仕事で疲れ切って、うつろで元氣なく退出されるか言ってください。

最後に、工場仲間たちの中にいて、力づけられているという感情によって支持されていると感ぜられるか、それとも反対に、孤立していると感ぜられるか言ってください。

とくに心にしかかすすべての事を言ってください。

それでも書き終えたら、署名なざる必要は全くありません。あなたが誰であるか判断できないように整理するようにつとめて下さい。

〔中略〕

仲間達があなた方のものを読むでしょう。〔中略〕

あなた方の上長者「上司」達もあなた方のものを読むでしょう。かれらの読むものがいづれもかれらを喜ばせることはないでしょう。それはどうでもいいことです。〔後略〕

出典 シモーヌ・ヴェイユ（1936）『Rの労働者達への呼びかけ』、『労働と人生についての省察』黒木義典・田辺保訳、勁草書房、2010年（新装版第6刷）。

第一問 工場労働者がペンと紙をとって、自分の仕事について語ることは、自分自身にどのような影響をもたらすと、著者のヴェイユは考えているだろうか。二〇〇字程度で述べなさい。

第二問 下線部「仲間達があなた方のものを読む」ことで、どのようなことが生じてくるだろうか。あなたの考えを二〇〇字程度で述べなさい。

第三問 二重下線部「それはどうでもいいことです」とある。なぜヴェイユは、どうでもいいと述べているのだろうか。また、それならば、何が目的なのだろうか。あなたの考えを二五〇字程度で述べなさい。